

第3期帯広市産業振興会議 第4回ものづくり・販路拡大部会 次第

日時：平成26年8月28日（木）18:00～

場所：かじのビル3階 会議室

I. 開 会

II. 議 事

論点に対する対応方向について（案）

III. その他

IV. 閉 会

配付資料 ・ 資料1 論点に対する対応方向（案）
・ 参考資料 第3回ものづくり・販路拡大部会議事要旨

論点 3-1 資金・時間・人・情報などさまざまな制約がある中小企業が、数多くチャレンジできるようにするにはどのような方法が考えられるか。

<p>○ 支援制度の活用サポート 支援制度の内容や活用方法等の情報が、企業にしっかりと届いていない。積極的にわかりやすく情報を提供することが必要。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・支援制度等の情報とその活用方法をメール配信や情報誌等の手法を用いて、企業に届くように積極的に提供する。 ・企業支援のホームページは、デザインや機能を整理し、企業にとって見やすく情報を検索しやすいように工夫する。 ・支援制度の活用にあたっては、行政のノウハウを有効に活用し、エントリーしやすいようにする。
<p>○ 企業同士の連携促進 1社だけではできないことを共同、連携して行うという考えが必要。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・生産、加工、流通等、中小企業1社だけで取り組むことが難しいことを共同・連携して行うために、企業同士の接点を作る場を提供する。 ・各企業が持つネットワークを可能なかぎり「見える化」し、有効に活用する。 ・5S(整理、整頓、清掃、清潔、躰)等、各企業において共通する取り組みで連携し生産性を上げる。
<p>○ 大学・試験研究機関等との連携促進 地域、企業が抱える課題を解決するために、大学の活用が必要。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・地域、企業の課題解決にマッチする帯広畜産大学の学部等の分析を行う。 ・とち財団等の試験研究機関の役割・機能を整理し、企業の課題解決のために活用する。 ・高等技術専門学院等において、地域で伸ばしたい産業についての教育プログラムの作成などを行い、実務的な人材教育を行う。

論点 3-2 域内外へ出荷・販売を大きく増やすには、中小企業にとって十分な対応が難しい営業活動をどのような方法で促進・支援するのが効果的か。

<p>○ 「つながり」を活かした情報発信力の強化 個人、企業、地域それぞれのネットワークを活かし情報発信力を強めていくことが必要。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「十勝を丸ごと売る」という考えのもと、各企業が持つネットワークを有効に使い、情報発信を行う。 ・企業→消費者→企業という情報の流れを活かすため、消費者を巻き込んだ取り組みを行う。 ・インターネットを有効に活用し、十勝のことを全て調べられるようなホームページの開設や生産者、業界団体の共同展開等を行う。 ・販路拡大に向けて域外にある機関等を活用する。 ・各企業が持つネットワークを可能なかぎり「見える化」し、有効に活用する。(再掲) ・海外に向けた情報発信を強化するために、翻訳や通訳を担える人材を登用する。 ・地域の魅力ある企業の情報をデータベース化し、域内外に発信する。
--	---

○ **その他部会
における意見**

【全体】

- ・失敗を恐れず挑戦できる体制の構築が必要。企業のチャレンジに対する姿勢の理解促進。
- ・「戦略的えこひいき」という考えがあっても良い。
- ・業界、行政が的を絞って中長期の視点で取り組むことが必要。やることをしっかり決めて計画性を持って取り組む必要がある。

【人材】

- ・地域全体で人を育てるという考えが必要。
- ・Iターン、Uターンを十勝に呼ぶために色々なチャンネルを使って十勝の魅力を発信していくことが重要。
- ・人材育成は1社だけでは困難。共同の仕組みが必要。
- ・学校で学んだ内容と関係ないように思えても、関係する部分が必ずある。学生の意識を変えること、企業側の発信が必要。
- ・畜大生がもっと市内・管内に就職できるようになるといい。
- ・従業員教育の場が少ない。中小企業の経営者が集まって勉強の場をつくってはどうか。
- ・魅力ある職場づくりのために、職員の能力向上に対する取り組みが必要。人材育成には行政の支援も必要。
- ・高等技術専門学院等において、地域で伸ばしたい産業についての教育プログラムの作成などを行い、実務的な人材教育を行う。(再掲)

【集客・交流】

- ・十勝管外のイベントが十勝・帯広で開催されるなど、話題の中心となるような取り組みができると面白い。
- ・空港の名前をインパクトあるものに変えるなど、イメージの発信が必要。